

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX:03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
6月17日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

北海道→東京コース通し行進者の丸宗市さん（太平洋）の日記を紹介します。

6月8日（土）《34日目》



朝からの雨の中、30人近くの参加者で五戸町に向かい、そこから行進。途中休憩した倉石温泉では、温泉に入りたい気分になるほどの雨でした。金田一温泉駅での岩手県への引き継ぎ集会には100人近くが参加し、地域の底力を感じました。

二戸市長、被爆者の会のメッセージが紹介され、久慈コースからはすべての市町村から署名・ペナント・募金をいただいたこと、また二戸市では核実験に対する抗議文が採択されたことも報告されました。江戸川でも取り組まなければと感じました。

6月9日（日）《35日目》

朝の散歩で橋の手前の交差点に貼られた横断幕を見つけました。地域にしっかりアピールしていました。

朝は時間があり、九戸城跡を見学しました。午後からは石切所を出発して行進開始。駅前には日曜にもかかわらず、シャッターを下ろしているお店が多いのが気になりました。

途中から医療生協の仲間も加わり、元気よく行進しました。少ない人との出会いでしたが、大きく手を振ってくれたり、反応は良かったです。



夕方、岩手町のさわやかクリニックで交流会を25人の参加で開きました。

6月10日（月）《36日目》

今日は雨の心配もなく行進日和でした。岩手町では副町長と懇談。今年から被団協・原水協・町の三者で実行委員会を作り「平和展」に取り組んでいることが報告されました。

出発式ではさわやかクリニックの院長が挨拶、青年も参加し、元気に行進しました。最初は少ない人数だった行進もだんだん合流者が増え、夕顔瀬橋を過ぎる頃には100人を超す参加者に！警察が付かない行進にも慣





れてきました。

岩手県集会も 100 人近くの参加者で熱気溢れる集会でした。県議会議長のメッセージ、被団協の三田副会長の挨拶、盛岡大学平和委員会の 7 人の参加は集会参加者を大きく励ましました。

6 月 11 日 (火) 《37 日目》

岩手県では県を筆頭に、33 市町村のうち大船渡市を除く 32 市町村で、核兵器禁止条約の調印・批准を日本政府に求める意見書の採択をしています。

昨日は県の激励集会に県議会議長のメッセージをいただきましたが、今日は副知事と懇談。非核三原則を遵守し、核兵器廃絶に向けこれからも努力していきたいとの挨拶をいただきました。



全ての自治体や団体からいただいたペナントを 70 人超の参加者に紹介し、35 人で市内行進に出発。

川久保病院前では 100 人を超す職員の皆さんの大きな拍手が出迎えてくれました。院長の歓迎の挨拶後、5 人の原水爆禁止 2019 年世界大会参加者が紹介され、決意をそれぞれ語ってくれました。川久保病院からの行進には職員も多く参加し、70 人を超える行進となりました。国際青年リレーのタスキも目立ちました。

非核平和都市宣言の碑が高々と掲げられた矢巾町では町長、副町長、教育長、職員組合の委員長が出迎えてくれました。「皆さんと思いは同じです。核兵器廃絶に向けてともに頑張りましょう！」との町長の言葉に参加者も励まされました。その後の行進には、副町長も参加され、核兵器廃絶を呼びかけました。

紫波町の交流会には、被団協の下村さん、総務課長も参加され、それぞれご挨拶をいただきました。

20km 近く歩いた一日でしたが、実り多い元気の出る行進、訪問でした。岩手県の取り組みを江戸川でも、東京でも、全国でもと思いました。

6 月 12 日 (水) 《38 日目》

今日は、朝に紫波町を訪問。副町長は、「東電福島第 1 原発事故の放射能被害で今も大変な状況。核兵器は絶対にダメ、核に守られているという立場は、さらなる核兵器の軍拡競争につながり、軍縮にはならない」と、政府の立場を批判し、核兵器廃絶に向け頑張ることを伝えてくれました。

出発式には、昨日に続けて総務課長が参加して挨拶されました。また町職員組合の書記長も参加し、昨年の 2 人の原水爆禁止世界大会への代表派遣に続けて今年も取り組みを進めているとの報告がありました。



昨日大歓迎していただいた川久保病院からは今日も 2 人の若者が参加（行進は初めて）約 10km を行進しました。途中花巻空港駅前では、戸別訪問で署名活動に取り組みました。短時間でしたが、2 軒に 1 軒は「ヒバクシャ国際署名」に応じてくれ、21 人分も集まりました。

なはんプラザでの歓迎集会は 40 人を超える参加者で盛り上がりました。遠野市長・花巻市長、議長の歓迎メッセージも紹介されました。岩手県は本当に進んでいます。全国は「岩手に追いつけ、追い越せ」を合言葉に取り組みを更に進めましょう。今日も 20km 近く歩きました。

6 月 13 日 (木) 《39 日目》

今日も川久保病院から 2 人の若者が参加、なはんプラザで 25 人が参加して出発式をおこない、花巻市役所まで行進しました。

その後、95 歳の被爆者の齋藤さんも一緒に花巻市長、市議会議長と懇談。市長は、「平成で戦争がなかったのは憲法 9 条があったからこそ。令和の和は平和の和、これからも平和な社会の実現に向けて取り組んでいきたい」と。議長は「リニューアルオープンした広島原爆資料館の展示を見た人は、あまりにひどい惨状に誰もが二度と核兵器を使ってはいけないと思う。今年の成人式には核兵器廃絶に努力されている齋藤さんのことを紹介して大きな反響があった」と話されました。

花巻市は昨日が議会最終日でしたが、16 対 9 で辺野古の基地建設に反対する意見書を採択しました。すごいです。

同席した齋藤さんは「核兵器廃絶に向けて生きていれば、来年の核兵器不拡散条約 (NPT) 再検討会議にも参加し頑張る」と話されました。

今日の「岩手日日新聞」に平和行進が報道されました。

引き継ぎ集会で花巻市から北上市にバトンタッチしました。



6 月 14 日 (金) 《40 日目》



「岩手日日新聞」には、平和行進が写真入りで紹介されました。

北上市の出発式には市長からのメッセージを総務部長が代読しました。

北上市から奥州市まで約 10km を行進。途中 3ヶ所で「ヒバクシャ国際署名」を集め、合計 110 人分が寄せられました。「わざわざ来てくれてありがとう」と言う人も何人もいました。

後藤伯 (後藤新平) 記念公民館で開催された引き継ぎ集会では、岩手県内で集めたペナント、旗が水沢原水協に引き継がれました。1 年間かけて折った千羽鶴をおだき小 5 年生から託されました。去年も折ったそうです。